

2023年9月定例会について

2023年10月26日 日本共産党宇治市会議員団

① 宇治市議会9月定例会は、9月14日～10月10日の27日の会期で開かれました。30年に及ぶ日本経済の停滞・暮らしの困難が続いているところに、物価の高騰が市民生活に深刻な影響を及ぼしています。日本共産党宇治市会議員団は、市民の暮らしと生業を守るため奮闘しました。

補正予算として1億900万円が提出されましたが、物価高騰から市民の暮らしを応援する予算は皆無で、そのうち地域密着型サービス等整備費補助金追加(6400万円)、巨椋池排水機場設備更新事業費(4100万円)は、国の補助事業です。不登校(年間30日以上)の欠席児童生徒が増加(2022年度・小学生130人、中学生220人)する中、「小学校において不登校児童の学びの場を充実するため、選定した対象校(5校)に支援員を配置し、もう一つの居場所を確保する取組を試行実施」するための予算285万円(半額は府補助金)が予算計上されました。補正予算には賛成しました。

② 堀池地域の雨水貯留管整備工事で、設計ミスにより地下を掘る推進機械が府の流域下水道管に接触したため工事を中断。設計変更で3000万円を要します。また、源氏物語ミュージアムの空調設備改善事業では工期の遅延で仮設の空調機設置で2000万円を要しました。流域下水道管への接触原因について建設部長は、「委託した設計会社が、流域下水道管の資料収集を行っていないことが判明した」と業者の設計ミスを上げています。党議員が「事業費14億円もの事業であり、成果物(設計図書)のチェックはどうしているのか」と追及すると、課長決裁だと答弁。道路管理者(市長)は承知していたが、担当課は流域下水道管の埋設を承知していなかったことも判明。建設部長は「今回の貯留管のような規模の大きい重要な事業は副部長、部長もしっかりチェックしていく必要があると考えている」と答弁しました。

③ 西小倉地域小中一貫校の整備工事がいよいよ始まります。工事中の児童生徒の安全や教育環境をどうするのか、保護者から様々な心配の声がだされていますが、市教委は「検討中」と具体的なことは示していません。工事は3年半以上かかります。いまの中学生は卒業まで、現在小学6年生の子どもは、来年、中学校に入学したら3年間、グラウンドは使えません。こうしたことに、具体的な対応策を示さない中で、跡地を売却などの検討が行われています。

市は、設置した「西小倉地域小中一貫校整備検討委員会」から「南小倉小学校跡地は民間事業者へ売却して学校跡地住宅地に」などの検討結果を受け、この利活用アイデアを参考に、12月を目途に、「基本的な方針」を策定するとしています。しかし、その後、開催した説明会では、保護者や住民から「子どもはどこで遊ばばいいのか」「私たちの大事な財産を簡単に売るなんて言って欲しくない」「住宅にするのは絶対にダメ。グラウンドにして欲しい」などの意見がだされています。

④ PFOS・PFOA等の有機フッ素化合物(PFAS)は、腎がんや乳児・胎児の成長発達への影響があり、国際条約で製造・使用・輸入が禁止されています。黄檗の自衛隊基地で国の基準値(50ng/L)の17万倍を超えるPFOS等が検出され、隣接する宇治浄水場で49ng/L(22年度)、近隣井戸で基準値の1.3倍が検出されています。

党議員が追及すると、市は「自衛隊に問い合わせたら、23年3月までに適切に処理したとのことだ」と述べました。府議会で水谷議員が、「周辺の井戸や中小河川も検査すべき」と追及すると府は「宇治駐屯地(黄檗)から500mの範囲の井戸6箇所で検査したところ2箇所で暫定基準の1.3倍程度のPFOS検出された。現在、飲用していないが、改めて飲用しないように注意喚起した」と答弁。

その後、党議員団らの申し入れに市は、「昨年7月に2箇所から基準値を超えたことは聞いていた」と答弁。市は府から聞いていながら、府が公表するまで市民には明らかにしない態度は、極めて問題です。市民の安全を守るため、積極的に情報を明らかにすべきです。

⑤ バス路線が廃止・縮小されたり、高齢化がすすむ中で移動困難者が増加しています。党議員が、全国で取り組まれている「必要な時、必要な場所」に行ける「予約制乗り合いタクシー(デマンド交通)」の導入を求めましたが、市は「個々の移動に対する支援については、デマンド型交通とは位置づけが異なる」と拒否しました。

⑥ 市は京都市以南の9消防本部の消防指令を共同化して、一つの指令センターで運用しようとしています。京都市から南山城村までの広大な地域を一つの指令で適切に救急や消防力の投入が出来るのかが大きな問題になっています。共同した消防指令業務は京都市主導で運用され、市は負担金と人は出すが、市や議会の意見が反映されないことが明らかになりました。今年6月に入札なしの随意契約で共同運用の設計業者が決まりましたが、市は負担金を出しているのに、入札の契約は京都市が行い、市や議会には報告もされていません。指令センターの整備には数億円かかり、市も数億円の負担金を払うこととなりますが、市は、「住民監査請求の対象にはならない」としています。

⑦ 教育長の任命同意を求める議案が提案されましたが、党議員団は反対しました。あたらしく提案された教育長は、府教委の教育部次長を今年3月に退職した方です。市長、副市長、教育長の理事者全て京都府の出身者となりました。

⑧ 党議員団は、陳情のあった「ケア労働者の賃金改善と人員増のため診療報酬・介護報酬・障害報酬の引き上げを求める意見書」を提出しました。うじ未来・市民・公明・維新らが反対し否決されました。(賛成：共産、佐々木議員)

**日本共産党
宇治市会議員団**

2023年11月5日 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所内

TEL : 0774-22-3141(内線2817)

FAX : 0774-24-7884

共産党議員団へのご意見・ご相談

